



「見たり、聞いたり、探ったり」No.293

通算 No.444

青木行雄

「ふるさと観光応援」(大分県)
ディナーコンサートを開催して—
(2024年7月6日(土) 大分中津ヴィラルーチェにて)

7月9日早朝、大分県杵築市の中野酒造の中野会長より電話をもらった。「青木さん大分合同新聞にあんたの事が載ってるよ」との話であった。大分県の中野酒造は近年ヨーロッパで「智恵美人」という名称の酒が金賞を受賞、大変おいしく芹洋子さんもファンの酒造である。今回のふるさと訪問でも立ちより大変お世話になった。新聞記事は下記の通りである。



このディナーコンサートの準備は1年以上前から取りかかったが何しろ東京と大分、何かと不便を感じながら計画を進めた。今年の2月にも帰郷し打合せを重ねた。何の会でも集客が一番の難題で客数により、会色が変わる。会費の金額や会の内容、出演者の知名度にも左右されるが、主催者の熱意や情熱も大きく左右する。

今回大成功とは言えないが82,000人の町で開催、18,000円の会費を頂き、プロにたよらず154人の集客はうまくいった方かも知れないと感謝している。

「ふるさと観光応援」ということで、中津市長、中津商工会議所会頭他の協力を頂き、天気にも恵まれ開催出来た事は大変幸運だった事かも知れない。感謝の気持ちでいっぱいだが、少々の余剰金はふるさとへ寄付させてもらった。

私のふるさと大分県中津市をちょっと紹介すると1万円札の肖像だった「福沢諭吉」先生の生家のある町で市内には中津城があり、城下町であった。近くには耶馬溪^{やまげい}というもみじで有名な景勝地があり、菊池寛原作の「恩讐^{おんしゅう}の彼方に」のモデルとなった「青の洞門」は大変美しい景観で素晴らしい。

私が学生の頃、山国川にそって耶馬溪鉄道という私鉄が通っていた。中津から2時間程かけて、平田という所から中津市まで学校にかよった。今は廃止となったが、台風が来たり地震があったりするとよく不通になった。その都度線路にそって何時間もかけて歩いた懐かしい思い出もある。

10年程前には大分県のカボス・観光大使を仰せつかり、大分のお役に立ちたいと思って、歌の制作に取り組んだ。たまたま「芹洋子」さんがかばす仲間ということでお願いし、現在4曲「第一興商」DAMに入歌することが出来た。以下が入歌のDAM番号である。

歌 芹洋子 (DAM)

- ①「温泉大分日本一」 NO 1810-27
- ②「美しき山国川」 NO 1810-28
- ③「大分豊国」 NO 1810-29
- ④「やばけい遊覧」 NO 1810-30

全国のDAMのカラオケで歌うことが出来る。四曲の歌詞は別紙の通りである。

こんなことでディナーコンサートは開催された。

主催者の挨拶で最初に次のようなことを話した。

『皆様こんばんは

本日はご参加頂き誠に有難う御座いました。私は青木行雄と申しまして耶馬溪町の出身で現在東京で木材会社を経営しております。

お陰様でこの様な状況の中で「ふるさと観光応援」と言う名目で少しでも故郷にお役に立てればと計画をさせて頂きました。

中津市役所の奥塚市長、中津商工会議所仲会頭を始め皆様に大変お世話になり、ご協力頂きこうして大勢の方のご参加で開催することが出来感謝申し上げる次第であります。

10年ほど前に大分県のカボス・観光大使を仰せつかり、お役に立つには観光の歌はどうかと地元守実の作曲家梶原豊樹さんと共に「芹洋子さん」にお願いし、今日のはこびと成りました。

今日梶原さんの兄弟の方も守実からお見えですが、3年前にコロナワクチンを打たれた後で急死され、

「ふるさと観光応援」

芹洋子

「やばけい遊覧」「美しき山国川」
「温泉大分日本一」「大分 豊の国」
作詞 青木行雄 作曲 梶原豊樹

ディナーコンサート

2024年 中津ヴィラルーチェ 開場/17:00 ~ 開会/18:00 ~
1F ヴィラスイート
〒871-0032 中津市東本町1 (JR 中津駅南口前)
TEL0979-23-1122

7/6 (土)



主催 在京中津会
後援 中津市、中津商工会議所
大分合同新聞社

全席指定 (お一人様)
18,000円 (税込) フォーコース
フリードリンク

芹洋子プロフィール
大阪府東大阪市生まれ。
オーディション番組に優勝したのを機に上京。
1972年「秋歌〜その夏」でデビュー。1976年の
「四季の歌」、78年「坊がつる讃歌」が大ヒット。
2017年7月、キングレコードより
「温泉大分日本一」・「美しき山国川」を発売。
2022年、キングレコードより「大分豊の国」・
「耶馬溪遊覧」CD発売、カラオケDAMにて配信中。
現在はサンミュージックに所属。

芹洋子ディナーコンサート チケット FAX 申込書

フリガナ お名前 ご住所 〒 TEL FAX 全席指定 ¥18,000 (税込) × 枚	お振込口座 ゆうちょ銀行 店番 019 当座番号 0514866 口座名義 在京中津会 FAX 送信先 03-3522-1184 余利金は故郷へ寄付させていただきます。 <small>お問い合わせ 青木行雄 090-3344-8856</small>
---	---



市長が私を皆様を紹介。お誉めの言葉をいただいた。



芹洋子さんが私のことを紹介してくれた。



芹洋子のショーが始まった。



熱唱する芹洋子さん。語りも大変良かった。

誠に残念で仕方がありません。

今日は30人ほど東京からこのディナーショーに御参加頂き、中津筑紫亭のハモ、耶馬溪観光、日田のうかい、湯布院経由で酒造見学(中野酒造)して東京へ帰る予定です。

本日は誠にご参加有難うございました。』

この様な挨拶をさせて頂いた。

令和6年7月6日 青木行雄

当日のコンサートスケジュールは別紙の通りである。

故郷を思い、故郷を愛し、故郷の為に何が出来ると毎年「ふるさと納税」は少々続けて来たが、金額には限りがある。

そこで考えたのが歌だった。しかし素人の自分に何が出来ると考えた。そして出来たのが歌詞だった。そして曲をお願い出来る人をさがした。その時、偶然ある人の紹介で「梶原豊樹」という同郷の人で「猪俣公章」の門下で修行された彼はまだ日の目を見ていないが夢と希望

「ふるさと観光応援」 ディナーコンサート			
芹洋子ディナーショー (スケジュール) 令和6年7月6日			
開場	午後5,00時	1部 開会	6,00時
司会 力徳淳子アナウンサー			
1部 6,00時			
1	主催者挨拶	在京中津会会長 青木行雄	2分
2	主賓の挨拶	来賓 中津市長 奥塚正典様	4分
3	:	来賓 商工会議所会頭 仲浩様	4分
4	故郷へ感謝の御礼	中津市長へ 青木行雄	2分
5	中津文化協会	里見理事長へ 青木行雄	2分
2部 6,20分			
6	ディナータイム 乾杯	中津南同窓会小南会長	2分
7	ディナー中	大分 豊の国 やばけい遊覧他 CD 流す	
3部 7,20分踊りは「温泉大分日本一。やばけい遊覧」2曲			
8	芹洋子	ショータイム (踊り入り)	60分
9	芹洋子さんへ	花束 贈呈	2分
終了			8,30分頃
※ 踊り；大在愛育こども園 (おおざい) 職員の皆様です			



「温泉大分日本一」の歌で、振付けの踊り子が20人、歌を盛り上げてくれた。



熱唱する芹洋子さんはNHKの紅白歌合戦にも出た。歌唱力はまだおとろえていない。今も変わらず素晴らしい。



2月コンサート打合せに中津行きの際、富士山上空より写す。かなりの雪で大変楽しかった。



7月5日中津行きの時富士山上空より写す。雪はなかった。雲に廻りをとりかこまれていた



7月5日大分行きの時大阪上空を通り、大阪万博会場の木造円形の様子が見えた。

を抱いた青年に出会った。その人が豊樹さんだった。そして故郷の為ならと言う事で、歳は私と違い若かったが気が合って最初の曲「温泉大分日本一」が生まれた。それから歌手さがしにも苦労した。すべてマネーがともなうが、熱意と情熱で相応に事は進んだ。編曲、録音、レコード会社、CD製作もろもろと、次から次へと時間と負担はかかっていったが、夢の実現と誰かに少しでもお役にたつかも知れないと言うわくわく感が大きく芽を吹いた。そして10曲ほどが生れた。この内の4曲が日の目を見た。だが豊樹さんはコロナで他界し相棒をなくした……。今回のディナーコンサートはそんな大きな事情も重なった。故郷でのコンサートに7年前の時、同級生が35人も協力してくれたが、高齢や不自由で今回は1人だった。コロナ後の環境の変化、物価高や高齢化で事情は様変わりだった。そんなわけで集客に苦労もした。しかし、私の人生の楽しいイベントの名場面でもあった。

皆様のおかげで無事に終了し、数十人から内容も「大変良かった」とおほめを頂いた。

組合月報に毎月記載させて頂き、通算37年、この上ない幸せに感動と感謝の日々である。

青木行雄は、昭和12年7月1日大分県中津市耶馬溪町に生れ、87歳になった。目は0.7、耳は正常、体はいたって健康。きれいな食べ物はない。酒は少々。まだ大病はしたことがない。車も毎日(月曜から金曜日まで)、千葉から江東区の会社まで32kmを運転し、かよっている。

コンサート「真夏の夜の夢」の実現でした。